

# 東京滝川会だより

第 72 号

令和 2 年 9 月 発行

〈事務局〉

滝川市大町 1 丁目 2 番 1 5 号  
滝川市産業振興部産業振興課  
TEL 0125 28 8009 FAX 0125 23 5839  
E-mail syoukou@city.takikawa.lg.jp  
URL <http://www.city.takikawa.hokkaido.jp>

## 東京滝川会会長からのメッセージ

### 「待ち遠しい再会の日」

東京滝川会会長

加藤 晃章

新宿の駅まで歩く途中、去年の総会会場の「グレースバリ」を見つけました。あの日会った同期の前田市長、沢山の来賓の方々、特別ゲストのタレントさん達、この総会の「常連」の面々一人ひとりの顔が蘇ってきました。

目的の駅が近づくまでの間、頭の中は滝川会一杯でした。地下道の雑踏を歩くマスク姿の人たちと会員の皆さんの笑顔が重なり、地下空間が巨大なパーティー会場に見えたりして、自分でも可笑しくなりました。今年はコロナで開催できませんでしたが、次回は盛大にやりたいものです。ビンゴ大会では、きつと一等を当てようなどと考え、マスクの下でほくそ笑みながら、改札を抜けました。

この頃は、慣れない在宅勤務で終日PCに向き合えば、Webで会議をしたりしています。これがなければ、生涯「IT音痴」のままだったかと思えば、不自由な毎日でも我慢できます。困難や脅威に立ち向かい、克服し、それを乗り越えていく組織の復元力を、英語でレジリエンス (resilience) といいます。滝川会は、会員の心に流れる「滝川愛」、会員相互の「絆」、会を支えて下さる皆さんの「情熱」の詰まった高いレジリエンスのある集団です。アフターコロナの暁には、これまで以上に素晴らしい組織として復元され、笑顔で再会できることを願って止みません。



パソコンを使って在宅勤務中！

## 滝川市長よりご挨拶

### 「新型コロナウイルス禍における滝川市の取り組み」

滝川市長 前田 康吉

新型コロナウイルス感染症の猛威が続き、東京都においても日々新たな陽性者が確認されており、首都圏にお住まいの会員の皆様におかれましては、不安な日々をお過ごしのことと思います。会員の皆様のお仕事や生活にも支障をきたしていること拝察いたしますが、まずは健康でおられることを願っております。この度の東京滝川会の総会につきましても、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止の措置が取られました。会員の皆様との親交を深める機会を失い、誠に残念ではありますが、今は次の機会を楽しみに待ちたいと思います。

さて、世界、日本経済に深刻な打撃を与えている新型コロナウイルス感染症ですが、滝川市の経済活動にも暗い影を落としております。緊急事態宣言が解除され、一時期よりも落ち着きを取り戻しておりますが、発生前の経済活動への回復には程遠く、今後の情勢についても予断を許さない状況です。このような中、滝川市としましては、世帯主を対象に100%のプレミアムを付与した商品券を購入できる「滝川市生活応援プレミアム商品券発行事業」、売上が激減する事業者で国の持続化給付金の対象とならない方へ10万円の給付を行う「滝川市事業者応援給付金事業」、タクシードライバーが市内飲食店のテイクアウト商品をデリバリーする際に配送料を補助する「滝川市タクシードライバー・飲食店連携宅配サポート事業」など滝川市独自の新型コロナウイルス感染症対策の事業を行っております。これらの事業を通じ、一日でも早く経済の安定化を図り、市民の皆様が安心して暮らせる環境を整えるとともに、さらなる施策の展開を進めていく所存です。

新型コロナウイルス感染症との闘いはまだまだ続きませんが、滝川市としては国や北海道が示す「新しい生活様式」を取り入れた、これまでとは違った新たなまちづくりの視点が必要と考えております。今後も、会員の皆様の故郷と市民の皆様の生活を守りつつ、「ウィズコロナ」を見据えピンチをチャンスとする気概を持って市政を推進してまいりますので、引き続きご支援を賜わりますようお願い申し上げます。

(コロナをテーマに書いていただきました)

### 「日常生活を営む上での 感染予防」

東京滝川会副会長 田湯 智康

皆様も記憶に新しい令和元年秋に、千葉県房総半島の大型台風被害、11月後半には中国武漢市から発生した新型コロナウイルスが、全世界に感染拡大し、現在も感染力が終息しない現状、国内における感染も対岸の火事と思えない状況であります。

個人的には、「感染しない」「感染させない」姿勢が感染拡大予防の根本ではないでしょうか。それにはマスク着用、手指消毒、手洗い、お買い物の際展示物に触らないのが原則。ひとり一人の感染防止意識を高め、行動することが一番の効果だと思います。

私の勤務しております病院でも、対策を万全にしており、外来患者様の受診の際、入り口も一か所に絞り、検温、手指消毒を職員輪番制で対応、面会はりモートで別室にてご家族とタブレット画面会話実施中。患者様、職員も600名近く居りますが、誰一人感染していません。感染に関する研修、正しい知識で、そして患者様、職員にもわかりやすいポスターを掲示、そして職員全員の意識、行動力を発揮出来る体制作りが進んでおります。皆様も、健康な身体作りが一番、これから冬場を迎える季節、インフルエンザ予防接種も必ず受けてください。

### 「コロナ禍で思うこと」

東京滝川会副会長 栗原 茂実

東京滝川会の皆様、コロナ禍において如何お過ごしでしょうか。新型コロナウイルスが中国で発生したニュースを年末に聞いた時にはまさかこんな状況になるとは夢にも思いませんでした。

私は、山形蔵王温泉でスキーを楽しみながら古い小さな旅館のアルバイトをしていました。年末から2月くらいまでは中国台湾等の東南アジアからのスキー・スノーボード客が沢山来ていましたが、3月以降宿泊客はほぼゼロになりました。現在も続いているようです。観光業の厳しい現状を体験しました。

現在横浜で生活していますが、近くでも感染者が出ています。外出時にはマスク、手洗い、うがいと気を使う生活。以前のように何一つ気にせず好きなように生活していたことがどれほど幸せな事だったのかあらためて感じていきます。



フェイスシールドをつけて食卓を囲む

### 「コロナ禍のメッセージ」

東京滝川会副会長 笹川 祐子

新型コロナウイルスは、世の中を全く変えてしまいました。最初に北海道で感染者拡大があり、大変な思いをされたと思います。滝川でも感染者が出たと聞いて、大変心配しました。

私は東京で事業をやっており、コロナで大打撃大赤字ですが、国の雇用調整助成金には助けられました。

想定外の悲しいことは、このコロナで、大事な人のお見舞いに直接いけないということ。入院中のお見舞いも、施設に入っている方への面会もできません。

明るいことと言えば、世界中で、コロナの死者数が、日本は極端に少ないこと。日本のミラクルが目立っています。強制されずとも一人一人が行動できる国民性に、日本の明るい未来を感じています。



## 「コロナ禍に思う」

東京滝川会理事 今野 利春

事態は静かに始まった。やがて、連日報道される感染拡大の状況に私はようやくコロナ禍の異常さに気がついた。経済も日常も途切れてしまうという現実。我々はいま、とんでもない時代に遭遇している。

こんな時、ふるさとに思いを馳せる人は多いのではないだろうか。自分を育み、多感な時を過ごした懐かしい風景や思い出が、自分の生きる糧であることを改めてかみしめる人も多いと思う。毎年の滝川会の行事が、実はかけがいのないものであったとの感を強くする。

一時ではあっても心の帰省が出来る滝川会のイベントが、例えどのような形でも開催されてほしい。ふるさとを愛してやまない会員の皆さんと再会できた日には、無事に会えたことの喜びを心の底から分かち合いたいと願う。



勤務先の工場にて

## 「コロナ太り解消」

### 神仙沼ハイキング

東京滝川会理事 歌原 邦芳

北海道は2月末に全国に先駆けての緊急事態が宣言され、コロナの影響がいち早く現れた地域でした。松尾ジンギスカンも4月18日～5月24日までレストラン全店を休業し、工場も一部のみ稼働の事態となりました。今では営業再開できましたが、私はその期間の在宅勤務や外出の自粛のため3kgもコロナ太りをしてしまいました。そこで7月にニセコ神仙沼にハイキングに行ってきました。そこはエゾ赤松、緑の大地の向こうに見える青空、極細の塩辛トンボが飛び普段見ることのない自然の息吹を感じられる場所でした。(写真参照)それがきっかけで行動することが楽しくなり、その後藻岩山、円山登山を実行し、今では体重マイナス3キロでコロナ太りを解消することができました。皆さまコロナに負けずどうぞお体をご自愛ください。



神仙沼ハイキングの様子

## 「普段通りの有難さ」

東京滝川会理事 大久保 朋彦

みなさまいかがお過ごしでしょうか？コロナ禍で、緊急事態宣言や移動自粛など今までは違う生活・違う夏を過ごしていることと思います。

私も毎年2回は滝川に帰省しております。7月末に帰省の予定でしたが、首都圏の新規感染者が増え、両親も高齢なこともあり、今回は断念しました。私事ですが現在神輿会に入っております。7月は祭典で神輿渡御の予定でしたが中止になり、今年は一度も担いでいません。町の納涼祭や盆踊りもすべて中止になってしまいました。

普段通りの生活ができること。当然の事と思っていきましたが、この状況下ではありがたい事だと改めて感じております。

早く収束して、滝川に帰省できること。普段通りの生活ができることを切に願っております。皆様方もこの状況ですが、くれぐれもご自愛ください。



昨年以前の神輿会活動の様子

# 「今、思うこと」

東京滝川会理事 田埜 寧

コロナ禍による打撃と戦っている方々が私の周りにも多くおられ、心を痛めております。飲食店、呉服店など、規模の大小を問わず、緊急融資を受けながら経営を維持している、とお話を伺うにつけ“何としても乗り越えて”と祈らずにはいられません。

新聞等では、各界の識者から様々な声が寄せられています。

○危機の時代は既存の価値観を脱し社会の変化に応じた、より幸福な生き方を築いていくチャンス

○生命(自然環境も含め)尊厳の哲学こそ重要

○互いが尊敬しあう、相手のことを心から思いやる共助、利他の精神を築くことこそ感染症を防ぐ根本

○「励まし」から「希望」へ、この連続が万人の生命に内在する善の可能性を引き出し、人類の脅威を克服する原動力になる言葉こそ違いますがその底には共通したメッセージが流れているのではないでしょう。私も、距離の壁を越えて希望の風を送れるよう努めていきたいと決意しております。



# 「新型コロナ禍で

## 定期演奏会が再延期に」

東京滝川会理事 宮本 信幸

私は滝高時代から始めたホルン演奏が趣味で現在はNSシンフォニー・オーケストラ(日本製鉄本社の同好会)に所属し、年1回、紀尾井ホールで定期演奏会を開催しています。

今年も、新型コロナのため、急遽3月から練習を自粛し、7月に開催予定の定期演奏会を来年1月に延期しました。ところが、9月になっても新型コロナが終息する気配が全くありません。このため、従来利用していた練習場所が感染防止のため当面借りられなくなり、来年の夏頃まで再延期せざるを得なくなりました。新型コロナは、私のささやかな楽しみである演奏活動にも影響を及ぼす手ごわいウイルスだということを実感しています(涙)。



# 「コロナ禍騒動に思う」

東京滝川会理事 吉川 顯

北海道での災害等の報道があると滝川在住の旧友に連絡を取ってみる。「なんもだ滝川は大丈夫だ」。大雨も大雪も寒波も避けて通っているようだ。少年期を過ごした滝川の想い出に大きな災害は少なかったと記憶している。自然条件に任せるしかなかった古であれば都をおけるくらいの場所である。コロナ感染者数でも、「滝川は落ちついている」の情報が先日入ってきた。

自宅で過ごす時間が多く台所に立つことも苦にならなくなり、老妻の「まあまあいける」の評価も増えた。コロナ自粛期間の功罪の数少ない「功」なのかもしれない。滝川の地で旧友と一献傾けたいものである。



たくさんの種類のコロナ対策グッズ

# 「コロナ対策グッズ」

東京滝川会監事 三輪 秀一

私の会社のコロナ対策グッズの紹介。写真の左側が「アルコール噴射器」。手をかざすと自動で噴霧します。社員、来客者、すべての人に義務付けしています。これはゴールデンウィーク前の4月末から設置し、徹底しています。(自動が自慢です!) 右側が「オゾン発生器」最近設置しました。最近ニュースでオゾンによりウイルスを最大で1万分の1まで不活化できると聞き、即Amazonで購入しました。(チョット臭いがしますが)

会員の皆様も、いろいろな対策を行っていると思いますが、コロナウイルスに打ち勝つには、一人ひとりが出来る対策、一人ひとりが日常生活の中で「新しい生活様式」をやっていくしかないと思いません。いろいろな大変なことがあると思いますが、打ち勝つまで会員の皆様、頑張りましょう。そして、会員の皆様に早く会えることを願っております。



自慢の自動アルコール噴射器!!!

## 滝川市出身の芸能人の方々からも

## 寄稿文をいただきました!!!

### お笑いコンビ ジャガーズ 様

滝川市出身のお笑いコンビ、ジャガーズです。去年は東京滝川会に参加させていただきジャニーズものまねなどを披露させていただきました。今年にはコロナの影響を受け機会が無かったので、こういった文章を通じて、活動をお伝え出来ればと思います。

まずいきなりお伝えするのはお笑い芸人という仕事柄、人を集めて楽しんでもらう事が全てなので、コロナの影響でほぼ全ての仕事が一時的に無くなりました。そして自粛期間という辛い日々が始まりました。周りの芸人も先が見えない中で嘆いていました。そんな中、僕は配信で応援してくれる方達とのコミュニケーションを大事にしました。日本全国からいろいろな方と毎日お話をすることで苦労やストレスを発散し、時には助けられました。自粛という期間が、改めてファンの方の存在を大切に思わせてくれました。

そこからはジャガーズとしてラジオやYouTubeのチャンネルを始めました。今まではネタを見せる場所を探して来ましたが、今はネタよりも自分の体験談などを話す場所が主力となりました。とはいえ以前のような生活を取り戻してはいません。それは僕達だけの話では無い事をわかっているのです、これから始まる新生活のために新しい活動を模索していると思います。

滝川市出身という共通点、滝川に関わるという共通点。こういった事からお互いを気にかけてもらえるのも本当に感謝しかありません。これからもジャガーズを少し気にかけて下さい! よろしくお願ひします。また東京滝川会で皆さんに会えます事を楽しみにしています。



# 「ピンチをチャンスに」

樹原 ゆり 様



今年2月、新型コロナウイルスの感染懸念が広がる中、舞台『サゼン』の千穂楽を迎え、私たち出演者一同、お客様からの拍手に包まれ、感謝の思いに満たされていきました。俳優は、演ずる作品をお客様に見ていただいていた始めて仕事として成立するもの。しかしながら4月7日、緊急事態宣言が発令されてから、今年予定されていた舞台、公演等はほぼ全てが中止に。予想していたことではありませんでしたが気が失せ、不安な日々が続きました。幸いなことに昨年、OEM化粧品の開発や、ネットショップを立ち上げたことで学ぶことが多々あり、そちらに時間を費やすことができたのは救いでした。このことで「全てが学び」、「何事も芸の肥やしに」と捉え、「ピンチをチャンス」に変えていける発想の転換力を身につけたいと強く思うようになりまし。新型コロナの時代、演劇・イベント等の表現方法が新しい形へと変化しています。いつの日かふるさとに貢献できるような企画や作品を、劇場を満員御礼に、あるいは新たな形で表現することができ、その世界を多くの方々と共有し、繋がりを感じられたら幸せだなあと夢見て、それを励みに日々小さな一歩を踏み出しております。

# チェロ奏者 津留崎 直紀 様

毎年7月に江部乙にある父母の墓を掃除にゆく事になっている。こんな時期で迷ったけれど行く事に決め、ついでに北海道のドライブ旅行をした。釧路から素晴らしい景観の野付半島を歩いた後、網走から稚内。そこから日本海沿いに走った。オホーツク海と宗谷岬の美しさ。稚内ー天塩線は右に日本海、左に見渡す限りの天塩湿原は手付かずの自然が延々と続く。夕方暮れなずむ故郷に到着。そこから見える暑寒別岳の光景は何度見ても心が和む。北海道の自然は美しい。悲しい知らせもあった。滝高で1年先輩の川口義弘さんが亡くなったことを知り未亡人である同級生の紀美子さんをお見舞いした。川口さんにはずいぶんお世話になった。本業のことを少し。今年度はベートーヴェンの生誕250年だったが世界中で数多く企画されたイベントがほとんど中止になった。音楽界は大打撃だ。そんな中、私が企画していた小林道夫氏とのベートーヴェンチェロソナタのコンサートは敢えて行う事に決めた。札幌コンサートホールキタラ（10月27日）と東京銀座の王子ホール（11月5日）で開催します。ベートーヴェンの音楽は聴くほどに勇氣と元気が湧き出る音楽です。皆様のご来場を是非お待ちしております。私の活動はフェイスブックの「神楽坂ステージオフィス」で検索できます。

皆さま、大変お忙しい中、寄稿文の作成にご協力いただきました。誠にありがとうございました。

## 《令和2年度総会の中止について》

- ・「総会」は10月24日（土）の開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本年度の開催は見送ることとなりました。
- ・「役員会」は令和2年5月26日（火）を基準日とし、書面により開催されました。
- ・「会員交流会」の開催につきましては、令和3年2月下旬を予定しておりますが、新型コロナウイルスの感染拡大状況により、中止となる場合もございます。

# ～～滝川生まれのお酒はいかがでしょうか？～～

## えべおつwein



昨年初めて、滝川産の「ワイン」が出荷されました！



東京都出身の高橋孝輔さん。9年前に農業を始める目的で北海道に移住！ゼロから農業を始めるのは想像以上に難しく、最初は会社員として勤務をされました。が、道産ワインブームが徐々に高まり、元々好きだったワインをぶどうから作ってみようと、余市にある平川ファームで2年間学びました。気候変動などでぶどう栽培に適した土地が増える中、先に移住していた両親の住む江部乙で滝川市初のワイン用ぶどうの栽培、醸造をはじめ、「農業に携わる」夢を叶えました！

高橋さんのこだわり！

- ① 健全な果実のみを使用
- ② 野生酵母で自家栽培ぶどうを混醸した、畑の味を感じてほしい
- ③ 醸造は技術的な介入を最低限に、ぶどう本来の旨味を活かす！

高橋さんが製造するワイン「虹」の特徴！  
はちみつのようなトロピカルで華やかな香りが特徴です。強すぎないアルコール分と酸味があり、どんなお食事にも合うような、全体的にバランスの取れた白ワインです。

ご注文はお電話にて受け付けております  
TEL : 080-6087-3650  
1本750ml 販売価格 3,300円 (税込)



「ふるさとの味」を目指しています！  
ぜひ一度お試しください！



元々リンゴ畑だった土地に並ぶ約6000本のぶどうの木。毎年課題を見つけ弱点を克服することで、より良いぶどう、ワインの生産に向けて日々試行錯誤を繰り返しています。昨年は300本、今年は900本のワインを醸造し、来年はさらに多くの生産を見込んでいます。ワイン製造を通して江部乙、そして滝川を盛り上げていくことが現在の目標です！



## 滝川クラフトビール



滝川クラフトビール工房  
webサイトはこちら→



頑張った自分へのご褒美や、お世話になった方へのギフトとしてぜひご利用ください。  
また、有楽町の北海道どさんこプラザでもお取り扱いしているほか、ビアバーなどでスポット的に飲めることもありますので、お店でリクエストしてくださいね！

### 1. 空知ピルスナー

上富良野生まれのホップ「ソラチエース」を使用し、大麦麦芽100%で醸造した、すっきり、さわやかな味わいのビールです。

### 2. 空知エール

アメリカンホップを贅沢に使用し、マスカットや柑橘類を想像させる香りと、爽やかな苦みを兼ね備えた一品。多数の賞にも輝いた自慢のビールです。

### 3. 空知ヴァイツェン

小麦麦芽を主原料とした色が白濁とした「白ビール」。苦みが少なくバナナのようなフルーティーな香りが特徴の、飲みやすいビールです。

### 4. りんご&ドライ

滝川産りんご「ふじ」と「旭」の果汁を使用した、「りんごの発泡酒」。爽やかな酸味、渋み、後味には程よい甘みを感じられるフルーツビールです。



全国地ビール品質  
審査会入賞!!!

# ふるさと納税のご案内



様々なお礼の品を  
取り揃えております！

## <商品参考例>

あいがも鍋満足セット 18000円  
滝川ジンギスカン食べ比べセットA 9000円

◇詳しくは、滝川市役所ホームページ  
「ふるさと納税」のページをご覧ください。

※写真はサンプルです

～～ふるさと、「滝川」を応援しませんか？～～

## ○ふるさと納税とは？

ふるさと納税とは、生まれ育ったふるさとに「寄付」という形で「ふるさとを応援する」制度です。滝川市出身者に限らず、どなたでも寄付をしていただくことが可能です。寄付へのお礼として「滝川市の名産品」をお贈りいたします。また、自己負担額の2000円を除いた全額が税額控除の対象となります。

## ○お申込みについて

滝川市役所ホームページに各種リンク先がございますので、そちらよりweb申込みが可能です。(下記QRコードからもアクセス可能です。)インターネット閲覧環境にないお客様は、紙媒体でのお申込みが可能ですので、滝川市役所財政課(TEL: 0125-28-8008)までご連絡ください。



## 《新規会員様募集中！》

東京滝川会では新規会員を随時募集しています！首都圏在住で滝川市に関わりのある方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください！

### 【事務局】

滝川市大町1丁目2番15号  
滝川市産業振興部産業振興課内  
TEL: 0125-28-8009  
FAX: 0125-23-5839  
E-mail: syoukou@city.takikawa.lg.jp  
URL: http://www.city.takikawa.hokkaido.jp



## 《新規会員様のご紹介》

令和2年5月以降にご入会いただいた  
会員様をご紹介します。



茨城県在住

須藤 康之 様

※会員数 176名 (令和2年9月末時点)